

発行日2024(R6)12.1
 ●発行責任者 会長 鬼嶋 正之
 ●編集責任者 事務局長 宮嶋 栄
 印刷 昭栄印刷(株)

加治川を愛する会

揮毫：渡辺 薫風



撮影／奥村 洋

「加治川堤桜と共に」



聖籠町道賀新田
渋谷力ツ子

桜と言えば、高田城址公園や新発田城址公園の桜・福島県三春町のしだれ桜は余りにも有名ですが、加治川堤の桜を見た人は、皆感動を覚え、郷土の誇りです。両岸何十里もの堤の桜は日本一と言つても過言ではありません。

私達、加治川の側で暮している者は桜の蕾から、満開、優しく散り花筏となり加治川を流れる様、葉桜の緑の美しさ、葉桜から紅葉の桜まで見ていてる贅沢は改めて感慨を覚えます。これも一重にこれまで桜を育んでいる「加治川を愛する会」、「諸団体」の御尽力があればこそとお礼を申し上げます。

さて私事ですが、中学生の頃から毎年、友達五、六人と自転車で、一時間半から二時間近くかけて大きな根っこに苛まれながらも水門の桜に魅了され、加治川に届く程垂れる桜、大勢の人々。多くの出店は脳裏に焼きついています。

「加治川を愛する会」様、「諸団体」様、これからもお身体に御心を寄せながら花見をさせて頂きます。

猛暑の時は水を運び、苗木一本、一本に水をやり、苗木の周りを風通し良く草を刈り、ある時は、「大きくなれよ」と施肥作業、これ程までに愛を注いで育んでいる「諸団体」の皆様。「加治川を愛する会」の皆様に、敬を表する者として、大きく育った桜に心を下さいましてずっと桜を見守つて下さいます事を切に望みます。

加治川の側に嫁ぎ、昭和四十二年（一九六七年）の羽越豪雨後の桜の木の伐採を目の当たりにした時は、桜の大木が涙を流しているかに見え胸を締め付けられる思いは鮮明に残っています。この地を離れ県外でお住いの方々も「加治川を愛する会」の会員とお聞き嬉しく思っています。子供の頃遠足で桜の絶景、写生で描いた桜並木、昔のままに美しい光景として心に残っているのではと思っています。桜の時期には、きっと訪れていると思いますが、見事に復活された桜並木、三角島の大勢の人を見て喜んでいる事とお察ししております。これも又、「加治川を愛する会」の並々ならぬ努力の賜とthoughtっています。



毎年、この桜の木1本だけは、少し早く咲きはじめます。品種は調査中です。

新潟日報
野上文史
論説委員
2024.4.9火



ぽかぽか陽気の好天に恵まれた今年。例年通り花見ウォークは、加治川治水記念公園を出発し、さくら大橋と紫雲寺橋を回る約5・5kmのコース。のんびりと歩いて気持ちが良かったです。参加者には、ドリンク、絵はがきがプレゼントされました。

少し残念なのは、ソメイヨシノが五分咲きだったこと。来年こそは満開を期待しています。

陽気に恵まれた。100人余りが川沿いを歩き、残雪の三王字岳を遠くに見ながら春の訪れを五感で味わった▼花見の名所は数あるが、加治川の両岸延長14・5キロをつなぐ約2100桜は壮観だ。今の姿に至るまでのストーリーも興味深い▼かつて6千本にも及ぶ桜が連なった加治川は「長堤十里世界一」と言われた。だが、1967年の羽越水害などで堤防の桜の木が破壊を誘引したとする「桜犯人説」が流布し、すべて伐採される騒ぎ目を見る。現在の接堤は「古里の誇りを取り戻す」という市民の熱意を受け復元の途上にある▼その一翼を担っているのが、地元出身の作詞家たかかしさんが98年に発起した「加治川を愛する会」だ。たかさんは会報第1号で「自分の住む町・村を愛する心を子どもたちに伝えていく」と無数の汗を呼びかけた▼会は地道に植樹をして毎春の接堤ウォークを主催する。市内の小学校で堤の歴史を語つて聞かせ、県立つ中学生たる接堤の絵がきセットを贈り続ける。「子どもたちの心にも桜を植える」活動なのだという▼植樹は県の長い取り組みだ。直接の利益を生むわけでもない。昔の獲得にとらわれることなく金だけ自分だけの風潮とは対極にある。人口減少が進む地域の課題は郷土愛だけで克服できるものでもないが、必要とする知識や力は古里への愛着や誇りを土壤に芽生えるものだと思う。

花見ウォークを終えたのちに、天気が良かつたことから終点の加治川治水記念公園で、令和6年度の本会の総会を開きました。
事業実績・決算報告の承認をいただいた後、新年度の事業計画案や予算案などが審議され、原案どおり可決されました。

詳細は、今月中に本会のホームページを立ち上げますのでご覧ください。

賛助会員の応援に感謝

今年も加治川堤桜の復元運動に賛同頂いた、
賛助会員の皆さんを紹介します。

お陰様で、予定した諸活動を終えることができました。引き続きご支援をお願いします。

- 5万円 (株)ハードオフコーポレーション 様
山本 善政 様 (新発田市)
- 3万円 小池 雅治 様 (鎌倉市)
- 2万円 山田 昭夫 様 (杉並区)
- 1万円
片山 直人 様 (新発田市)
石塚 学 様 (新発田市)
- いいじま歯科クリニック 様 (株)熊喜 様
関東紫雲寺会 様 飯島歯科医院 様
山崎歯科医院 様 村山歯科医院 様
石橋歯科医院 様 長嶋歯科医院 様
佐藤歯科医院 様 原消化器内科医院 様
稻富歯科医院 様 歯科小林クリニック 様
木戸歯科医院 様 いじみの福祉会 様



花見ウォーク、菜の花は満開でした。

子どもたちに郷土愛を育む活動

子ども達からは、「今までただきれいだな、と何気なく思っていた。加治川の歴史や桜の話を聞き、改めて加治川の桜を大切にしたい」との札状を戴きました。

新発田市立米子小学校には6月26日、また新発田市立二葉小学校へは9月4日の授業に行ってきました。

今年も学校からの要請を受け、新発田市と聖籠町の小学4年生の総合学習の一つとして「加治川の歴史や桜並木の復元運動」の歴史を語つてきました。



二葉小学校



米子小学校

それぞれの学校の児童へ「私たちがこれまで守り受け継いできた加治川の桜を今度は、君たちに守り受け継いでほしい。」とメッセージを伝え、意義ある授業となりました。

今年度卒業される新発田市、聖籠町の中学生3年生の生徒、約9百人に本会で製作した絵はがき（桜の景色で彩ったもの）を贈呈し、これで10回目になります。

生徒の皆さんには地域の誇りとして美しい桜並木を記憶にとどめて欲しいと願っています。

今年は、新発田市の東中学校へ風間幹事が向いて絵はがきを手渡しました。また、この機会にとこと中学生を前にギターを携えて、森山直太朗さんの歌「さくら」を披露して楽しい思い出作りをしてきました。



新潟日報記事

風間幹事から卒業する中学生へのなむけとして歌も贈られる。



山倉小学校 校外活動 ■水門前で



山倉小学校 校外活動 ■提防の上で

植樹式実施

本会のたかたかし名誉会長の誕生日に合わせ10月27日、加治川記念公園近くに植樹式を実施しました。昨年同様、空白地を埋める1本の



育樹作業も実施

9月19日、加治川左岸のさくら大橋の上流に植えられている桜の木々の育樹作業を行いました。今年の夏は酷暑と言われるほど厳しい気候となつたことから、幹が比較的細い木を中心に元気になるようなど施肥を行いました。



阿賀野市で植樹祭開催



清掃作業で汗 加治川クリーン作戦を実施

加治川に来訪する方が気持ちよく花見をしたり、散歩したりしていただくことを期待し、3月25日、ごみの回収と雑木の除伐作業を実施しました。

思いのほかごみが多く軽トラック

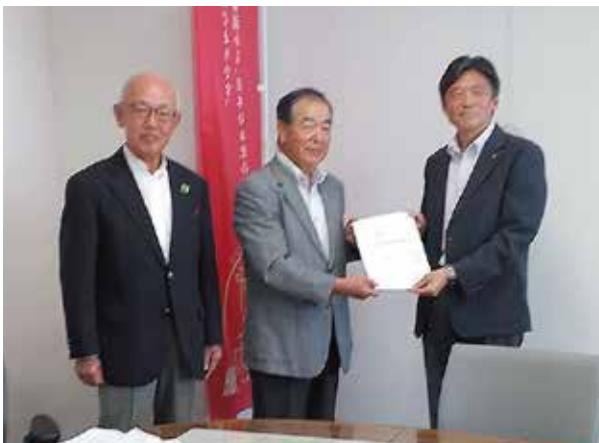
1台分ありました。心無い人の不法投棄には困惑しましたが、作業後、気持ちの良い汗をかいていたことに気づきました。



10月20日（日）、阿賀野市の五頭山麓「村杉温泉うららの森」で、100人余りの大人に加え地域の子ども50人が参加した植樹祭（結桜を植える）が開かれました。この催しは、本会も参加する新発田地域緑化推進協議会（本会会长が会長）が主催者となって、いいがた緑の百年物語緑化推進委員会との共催で行われました。参加された一人ひとりが緑化への意識を持つことで環境保全活動の輪が広がることを期待しています。

みの植樹となりました。

このたびこの1本の里親を受けてくださったのは新発田市の小林良一さん・千恵さんご夫婦です。ありがとうございました。



新潟県新発田地域振興局長へ

本会では、桜の植栽環境整備を主眼に河川環境全体の整備や地域緑化を推進するよう「加治川さくら里づくりの会」と一緒に、10月3日・4日、新潟県、新発田市、聖籠町に対し要望活動を行いました。

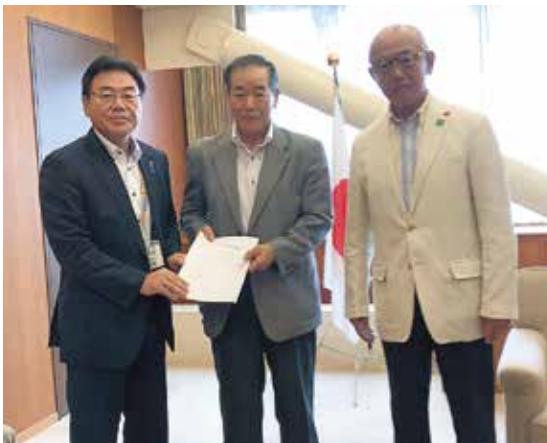
行政への要望・提案活動を行いました



新発田市長へ

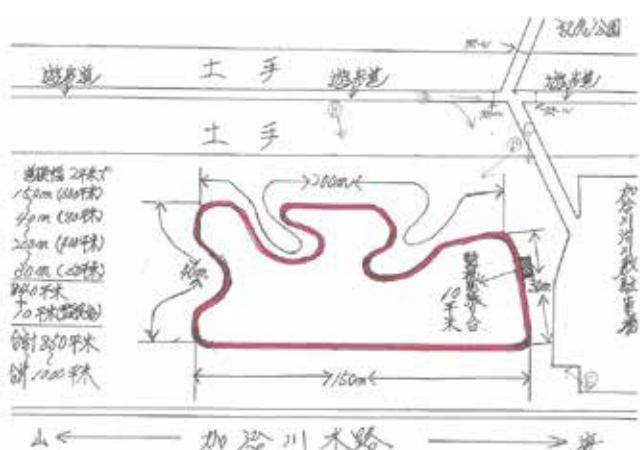
に莊厳な景色を見て戴くためにも、木の伐採を強く要望してきました。また、桜の苗木を植えてから来年の令和7年で、百年目を迎えます。（ただし、羽越水害後の河川改修で総て桜の木が伐採された期間を除く。）このことから県で「実行委員会」を組織し、加治川を舞台としたイベントの実施を進めてほしいと提案・要望をしてきました。

提外地に
マウンテンバイクコース誕生



聖籠町長へ

ノロードバイクのコース規模は、全長が約4百20メートル、敷地面積は約千平方メートル。マウンテンバイクは、親が同伴すれば子ども達も走れる専用コースもあります。興味のある方は、見学に行かれてはいかがでしょうか。



音等で地域の皆さんに迷惑を掛けないように運営するとのことです。

古賀政男音楽博物館 KOGA MASAO MUSEUM OF MUSIC

2024.11
館報 第55号

「大衆音楽の殿堂」 令和6年顕彰者決定!

「大衆音楽の殿堂」は、日本の大衆音楽の発展と普及に貢献した作曲家・作曲家・歌手・編曲家の方々を顕彰し、その功績を永久に記念する場所です。平成9年に顕彰事業を開始し、昨年まで333名、令和6年は9名の方々を顕彰して、合計で342名となりました。

令和6年に顕彰された方々のお名前は次のとおりです。



「コガミュージアム」は、東京都渋谷区上原3-6-12 (TEL03-3460-9051)。

古賀政男音楽博物館では、日本大衆音楽の歴史を振り返り、その発展に貢献された方々の功績を顕彰する「大衆音楽の殿堂」を設けています。

この度、作詞家たかたかし先生が日本の大衆音楽の発展と普及に貢献された功績が讃えられ、令和6年「大衆音楽の殿堂」に永く顕彰されています。

たかたかし先生は「これまで温かく見守っていただいた皆様のお陰」、と心より感謝しておられます。

本会の創設メンバーのお一人、風間辰夫先生（新発田市・旧紫雲寺町出身）は新潟県の鳥類保護行政の草分け的存在。この度、新潟県の鳥類相を知るための貴重な証拠資料となる標本800点以上を寄贈したとして、

風間先生は、たか名譽会長と新発田高校の同級生。終始加治川堤桜復元運動を応援してくれています。素晴らしい社会貢献に心より敬意を表し、拍手をおくりたいと思います。

たか名譽会長 「大衆音楽の殿堂」入り

彰されることになった。

この顕彰事業は平成9年から始まっています、昨年まで333名の

作詞家・作曲家・歌手・編曲家・演奏家の方々が顕彰されています。令和6年は9名の方々が顕彰され、合計で342名になります。

本会創設メンバーの顕彰

本会の提唱者であるたかたかし名譽会長と創設メンバーのお一人風間辰夫さんが大いなる社会貢

献で顕彰されました。ここにご紹介し、その栄誉を讃え、共に喜びを分かち合いたいと思います。

風間さんが「山階鳥研」 より感謝状

日本の鳥類研究拠点である公益財団法人 山階鳥類研究所（千葉県我孫子市 秋篠宮総裁）から感謝状が贈られました。

辰夫先生（新発田市・旧紫雲寺町出身）は新潟県の鳥類保護行政の草分け的存在。この度、新潟県の鳥類相を知るための貴重な証拠資料となる標本800点以上を寄贈したとして、

風間先生は、たか名譽会長と新発田高校の同級生。終始加治川堤桜復元運動を応援してくれています。素晴らしい社会貢献に心より敬意を表し、拍手をおくりたいと思います。

◆編集後記◆

普段は仕事などでお忙しい人も年末年始には二年を振り返つてみて、新しいことを始めるきっかけにされている人も多いかと思います。

少し具体的に仕事、家庭、プライベートに分けてお考えになることが良いと

年次には二年を振り返つてみて、新しいことを始めるきっかけにされている人も多いかと思います。

近々、本会のホームページが立ち上がりまして良い年でありますように、そして皆様にとりいたします。（編集委員 神田）



新潟日報記事

